

アート学科
イメージクリエイションコース

Image Creation

IC

2019年度 アート学科 イメージクリエイションコース 2年次

☆マーク:2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
イメージクリエイション 1						4
	○△造形心理ワークショップ	福田由紀夫	前	火1/2	221	
	○△芸術表現ワークショップ	"	後制	火1/2	221	
イメージクリエイション 2						4
	○社会とアート1	都築ノバーバラ	前	月2	221	
	○"	横谷奈歩	後制	月2	221	
イメージクリエイション演習1-1	*すべて必修					6
	○△☆イメージクリエイション演習 1	福田由紀夫	前	水2	221/231	
	○△"	西本太郎	前	水3/4	221/231	
	現代アート研究	野村和弘	前	月3/4	221	
	○△フィギュアワークショップ	長汐響	前	月5/6	221	
	立体ワークショップ	杉浦藍	前	火3/4	221/231	
	○△メディアアプローチ WS	西本太郎	前	木5/6	412	
	○ATCL合宿		前	授業外/3日間		
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/2日間		
イメージクリエイション演習1-2	*すべて必修					6
	○☆イメージクリエイション演習 1	福田由紀夫	後	水2	221/231	
	○"	西本太郎	後	水3/4	221/231	
	現代アート研究	野村和弘	後	月3/4	221	
	立体ワークショップ	杉浦藍	後	火3/4	221/231	
	○メディアアプローチ WS	西本太郎	後	木5/6	412	
	○フェスタ展示	福田/助手	後	準備週/2日間		
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間		
修了制作						6
	○修了制作指導	横谷奈歩	制	月2	221/231	
	"	野村和弘	制	月3/4	221/231	
	"	杉浦藍	制	火3/4	221/231	
	○"	西本太郎	制	水1~4	221/231	
	○制作指導	IC教員	上記授業時間外	月~金1~4限	各教室	
	○修了制作審査/講評	担当教員全員	制	制作週後/2日間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2018年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業
△=高等教育無償化申請

2019年度 アート学科 イメージクリエイションコース 3年次

☆マーク:2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
イメージクリエイション 3	4					
	○社会とアート2	横谷奈歩	前	月3/4	222	
	○"	"	後	木3/4	222	
イメージクリエイション 4	4					
	○企画制作ワークショップ	福田由紀夫	前	月1/2	222	
	○展示企画ワークショップ	"	後	月1/2	222	
	からだのじかん	オクダ	不定期/6回	月1/2	222	
イメージクリエイション演習2-1	*すべて必修 6					
	○イメージクリエイション演習 2	野村和弘	前	火1~4	222/232	
	○"	福田由紀夫	前	水1~4	222/232	
	○合宿		前	授業外/3日間		
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/2日間		
イメージクリエイション演習2-2	*すべて必修 6					
	○イメージクリエイション演習 2	野村和弘	後	火1~4	222/232	
☆1/2限	○"	福田由紀夫	後	水1~4	222/232	
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間		
卒業制作	6					
	○卒業制作指導	横谷奈歩	制	月3~4	222/232	
	"	野村和弘	制	火1~4	222/232	
	○"	福田由紀夫	制	月1/2・水1/4	222/232	
	○制作指導	IC教員	上記授業時間外	月~金1~4限	各教室	
	○卒業制作審査/講評	担当教員全員		制作週外/2日間		
	○卒業制作展 展示	福田/助手		制作週後/1週間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2017年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

科目名	イメージクリエイション1	授業分野	造形心理ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	表現行為にとって何が重要なのかを造形心理や過去の美術のスタイルに触れ、作品を制作するときに必要な姿勢を身につける。前期では、作品制作に応用できる造形心理の幾つかの項目を演習を交えて理解していく。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 造形心理:知覚について、図と地、造形要素 2週 線について1 先端の行使 描画材 3週 線について2 光と影のドローイン 4週 色について(色=光=波長)物質と光/絵の具の実験 5週 絵の具について1 6週 〃 7週 フレームについて 画面の構造/構図・比率の収集 8週 〃 9週 〃 10週 恒常性と錯視 紙コップの中から 11週 〃 空間への展開(だまし絵:ジョルジュ・ルースを参照して) 12週 〃		
初回持参物	ノートPC、鉛筆などのデッサン道具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業の取り組み方を重視します。評価は、課題の提出と完成度をもとに総合的に判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション1	授業分野	芸術表現ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	表現行為にとって何が重要なのかを造形心理や過去の美術のスタイルに触れ、作品を制作するときに必要な姿勢を身につける。後期は、造形表現の考え方を学び、演習を交え理解していく。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 素材との対話 紙 2週 素材との対話 布 3週 カットアウト 4週 設置 関係性の理解、身体レベルの変更 5週 " 6週 " 7週 記憶、遺物、記録—リサーチと収集 8週 " 9週 " 10週 イメージの背景 11週 " 12週 "		
初回持参物	ノートPC、鉛筆などのデッサン道具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業の取り組み方を重視します。評価は、課題の提出と完成度をもとに総合的に判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション2	授業分野	社会とアート1
担当教員①	都築崇広(1週～6週担当)		
専門 実務経験等	専門:アーティスト 地方と都会を仕事でつなぐ「わぐわぐ Works」代表 ○小須戸 2016 トーキョーワンダーウォール賞受賞 ○台湾 2017 もうひとつの小須戸 絵図面 / (新潟市) ○2018 おぢや汚れの絵画展(小千谷市新潟県) ○ 2018 汗牆山水(台南市)		
担当教員②	バーバラ・ダーリン(7週～12週担当)		
専門 実務経験等	専門:美術家 ホームページ(www.barbaradarling.com)		
授業内容 および 到達目標	アートと社会の関係について、様々な事例を紹介しながら、現在の問題について考察します。		
授業内容詳細・進行			
	1週 考え方を共有する:アイスブレイク/写真で語る。 2週 自己表現と社会性:ワーク①アイデア出し、コンペ 3週 アイデアを出す→形にする→自分の立ち位置を知る:ワーク②アイデア組合せ、発展 4週 アーティストインレジデンスー僕の感じた地方とアート:ワーク③制作、チェック 5週 アートからの派生ー都築の場合、わぐわぐ Works:ワーク④ブラッシュアップ 6週 ワークショップ:相互批評実験 7週 新しいゲームをつくるために:何が必要か話し合う(イントロダクション) 8週 " :ジェンダー・セクシャリティーについて話し合う 9週 " :障がいについて話し合う 10週 " :国籍/民族について話し合う 11週 " :国家と個人について話し合う 12週 新しいゲームをつくるための会議		
初回持参物	この授業専用のノート/筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、レポート提出 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション2	授業分野	社会とアート1(後制)
担当教員	横谷奈歩		
専門 実務経験等	専門:アーティスト ○アーティスト・イン・レジデンス参加(2013年から現在まで、AIR_Onomichiに招聘) ○星劇団再演プロジェクト/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○高橋家にまつわる物語/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○アートとサイエンスのあいだ/異分野の専門家との共同プロジェクト(2012年、2014年に展覧会と出版) ○芸術と考古学/考古学とアートの共同プロジェクト(2017年に展覧会、2019年に展覧会予定)		
授業内容 および 到達目標	幅広いアートの活動のあり方を知識だけでなく体験を通じて習得していく。 自身のプランを計画、実行が出来るまでになることが望ましい。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 美術館における展示 — 東京都美術館の企画公募展の紹介 2週 地方の芸術祭について — AIR_Onomichi 等 3週 アーティスト・イン・レジデンスとは 4週 アートプロジェクトについて 5週 アートと異分野とのコラボレーションの例 1 6週 アートと異分野とのコラボレーションの例 2 7週 さまざまな国際展の紹介 — 世界で何が起きているか 8週 ヨーロッパの美術状況についての話/アートプロジェクトを考える 9週 ワークショップを企画する 10週 美術館とは/作家のコトバから考える 11週 理想の展覧会を考える 12週 企画プレゼンテーションとディスカッション		
初回持参物	この授業専用のノート/筆記用具		
準備学習	さまざまな展覧会の見学をする。過去のアートプロジェクトにどういったものがあるのか、調べてみる。		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、レポート提出。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	○△イメージクリエイション演習1-1・1-2	授業分野	イメージクリエイション演習1
担当教員①	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手、 1995年4月～1998年3月同大学非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像 ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
担当教員②	西本太郎		
専門 実務経験等	専門:美術家/ディレクター 2004年～現在 映像空間演出 プロジェクションマッピングなど ○野宮真貴リサイタル 2007～2010 ○タカセの夢 2010～2015(静岡、東京、大阪、韓国、カメルーン)○ ANGELS2016～2018(静岡、東京芸術祭)など。 ※詳細は西本先生担当の他授業の欄を確認		
授業内容 および 到達目標	前期:ベーシック課題とグループワークでの共同作業の中で、様々な表現手段、素材、思考にふれる事により 作品制作における基礎体力の向上と視野の拡大を目指す。 後期:学生個々の作品制作を主体にした自由課題で、自立した制作活動ができる力を養成する。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 バルーンプロジェクト :「拡大」することで変わるもの (企画、アイデアスケッチ) 2週 " (ミニチュア制作、展開図制作) 3週 " (制作) 4週 " (制作、発表、撮影) 5週 テーマ制作 6週 " 7週 " 8週 " 9週 共通課題:校外展示作品制作(セッション杉並での展示企画) 10週 " (制作) 11週 " (制作) 12週 " (制作、発表)		
〈後期〉	1週 ポップ～シミュレーションイズムを経て 1:ウオーホル 2週 " (制作) 3週 " (制作、発表、撮影) 4週 ポップ～シミュレーションイズムを経て 2:ジェフ・クーンズ(作家名は参考) 5週 " (制作) 6週 " (制作、発表、撮影) 7週 " 8週 " (制作) 9週 " (制作、発表、撮影) 10週 トренд、かわいい、カルチャーとアート(コンペ出品) 11週 " (制作) 12週 " (制作、発表、撮影)		
初回持参物	前期:ノート/筆記用具 後期:夏季休業課題/自主制作テーマプラン		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、作品制作への集中度、作品の完成度。課題の詳細は各課題初日に伝達する。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション演習1-1-1-2	授業分野	現代アート研究
担当教員	野村和弘		
専門 実務経験等	専門:美術家 1990年デュッセルドルフ美術アカデミーにて学位(Meisterschueler)取得 パブリックコレクション 千葉市美術館 富士ゼロックス いわき市立美術館 3331アーツ千代田 他、美術館で多くの企画展に参加		
授業内容 および 到達目標	いろいろなアーティストを映像や画像で紹介し、彼らの作品からどんなことが読み取れるのか話し合い、 作品を理解する力と作家の理解を深める。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 ビビアン・ウェストウッドからはじめよう。 2週 世界美術全集 3週 シュールレアリズム:鑑賞「雨のあとヨーロッパでは」 4週 シュールレアリズム:鑑賞「アンダルシアの犬」「皆殺しの天使」 5週 「トークトゥハー」鑑賞 6週 野村作品「FUCKER」を導入として、ダダ、特にコラージュ、レディメイド、コンバイン等を考える。 7週 デュシャンとエルンスト 8週 バウハウス study:ビデオ鑑賞。作品集等の作例にも当たり、グループ研究、発表、ディスカッション。 9週 〃 10週 身体表現:「ローザス・ダンス・ローザス」など 11週 前期展示作品制作 12週 〃		
〈後期〉	1週 ポップ study:ビデオ鑑賞。グループ研究、発表、ディスカッション。 2週 〃 3週 シミュレーションズ study:ビデオ鑑賞。グループ研究、発表、ディスカッション。 4週 〃 5週 〃 6週 ジェンダー study:野村作品「frances」を導入として、グループ研究、発表、ディスカッション。 7週 〃 8週 かわいい study:ビデオ鑑賞。作品集等の作例にも当たり、グループ研究、発表、ディスカッション。 9週 〃 10週 〃 11週 美術館見学:作品鑑賞、展覧会企画、作品展示について考える。(時期未定) 12週 〃		
初回持参物	ノート／筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	授業内容は、授業の進み方を見て変更される場合がある。授業への参加の姿勢を評価する。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	○△イメージクリエイション演習1-1	授業分野	フィギュアワークショップ
担当教員	長汐響		
専門 実務経験等	専門:造形作家 2007年頃よりフリーの原型師 2011年「株式会社GB2」設立 フィギュアのデザイン、原型、彩色見本を制作		
授業内容 および 到達目標	フィギュア造形における骨格と筋肉の重要性とそののコツを学ぶ授業です。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 授業説明、スケッチ、実物大3面図作成 2週 3面図作成、芯作り 3週 骨格部分造形1 4週 骨格部分造形2 5週 骨格部分造形3 6週 筋肉部分造形1 7週 筋肉部分造形2 8週 筋肉部分造形3 9週 筋肉部分造形4 10週 表面部分造形1 11週 表面部分造形2 12週 表面部分造形3 講評		
初回持参物	スケッチブック／コピーカード／筆記用具		
準備学習	美術解剖学書の抜粋(去年使ったもの PDF化済み)の閲覧		
成績評価方法 および 注意事項	スキルの習得度。手順の理解度。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション演習1-1・1-2	授業分野	立体ワークショップ
担当教員	杉浦藍		
専門 実務経験等	専門:アーティスト 2019年 アーティストインレジデンス: Nida Art Colony(リトアニア) 2018年 グループ展「Time」(草御殿 Ivy Palace/台北) 2017年 個展「通り過ぎて、ふと止まる」(HAGISO/東京)		
授業内容 および 到達目標	何かを創る過程において、制作者は必ず自分と対峙し素材を選び、それを使って失敗と成功を繰り返しながら創造しなければなりません。自由に発想した事を実在化させる方法をサポートします。コンセプト作りから完成まで、制作の流れ全般を指導します。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 バルーンプロジェクト:「拡大」することで変わるもの(企画、アイデアスケッチ) 2週 // (ミニチュア制作、展開図制作) 3週 // (制作) 4週 // (制作、発表、撮影) 5週 テーマ制作 6週 // 7週 // 8週 // 9週 共通課題:校外展示作品制作(セシオン杉並での展示企画) 10週 //(制作) 11週 //(制作) 12週 //(制作、発表)		
〈後期〉	1週 立体構成:ドローイング、板材カット 2週 立体構成:板材カット、構成 3週 立体構成講評/型取り:粘土 4週 型取り:塑造 5週 型取り:塑造、石膏型取り 6週 型取り:石膏型取り、成形 7週 型取り:成形、割り出し 8週 型取り:講評、色々な物の型取りワークショップ 9週 インスタレーション作品の制作 10週 // 11週 // 12週 // 講評		
初回持参物	作業着(汚れても良い格好)/作業用手袋/作業靴(ハイヒールは NG)		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	作品制作態度。自分の作りたいものを模索し試行している態度を評価します。 授業参加の姿勢と考えを発信する事も重要です。 成績評価(100点評価):100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	○△イメージクリエイション演習1-1・1-2	授業分野	メディアアプローチワークショップ
担当教員	西本太郎		
専門 実務経験等	専門:美術家/ディレクター 1987年～1989年 特撮セットデザイン:円谷映像など(帝都物語、ウルトラQ、大霊界、孔雀王など) 1989年～映像ディレクターアートディレクター:株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 株)プラスマックス 1996年～2005年 メディアアート intermedia performance unit Nest として活動 2004年～2007年 地下工事現場見学会市民代表として活動及び 地下空間での映像投影演出 国土交通省ジオサイトプロジェクト 2004～現在 映像空間演出 プロジェクションマッピングなど(野宮真貴リサイタル2007～2010、 タカセの夢2010～2015(静岡、東京、大阪、韓国、カメルーン)、ANGELS2016～2018(静岡、東京芸術祭)		
授業内容 および 到達目標	SNS、スマートフォン、アプリ、体感ゲーム、マッピングなど様々な技術や表現を考察し作品を制作していきます。 毎授業内の時間内で作品の試作を作っていく事で、手を動かしながら考え提示できるようにしていきます。 関連キーワード...クリエイティブcommons/デジタルファブ리케이션/フリーカルチャー/サイトスペシフィック 使用アプリケーション...GoogleChrome/Photoshop/Illustrator/QuickTime/premiere など		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 「LOOKING INTO THE PAST」 webと時間軸について 2週 「LOOKING INTO THE DRAWING」ドローイング 3週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 イメージスケッチ 4週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 制作 5週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 制作 発表 6週 「外部機器を用いたデバイス作品」 スクロール及びクリックに特化した作品制作 7週 「外部機器を用いたデバイス作品」 イメージスケッチ 企画発表 8週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 ムービーやgifについての説明 9週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 スクロールの装置に関して 10週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 11週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 12週 「外部機器を用いたデバイス作品」 発表		
〈後期〉	1週 「TableTopMapping」 Projection Mapping 共同企画 2週 「TableTopMapping」イメージスケッチ 企画発表 3週 「TableTopMapping」制作 ガイドに関して 4週 「TableTopMapping」制作 テクスチャと光源 5週 「TableTopMapping」制作 6週 「TableTopMapping」発表 7週 「Projection Mapping」個人企画 映像収録 8週 「Projection Mapping」イメージスケッチ 企画発表 9週 「Projection Mapping」制作 10週 「Projection Mapping」制作 11週 「Projection Mapping」制作 12週 「Projection Mapping」プレゼンテーション発表		
初回持参物	googleクラスのアカウント、筆記道具、カッターなど		
準備学習	各種アカウント取得、検索して使用イメージなど調査。		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、制作過程の共有、作品制作への集中度、作品の完成度。 アカウントとして Google / tumblr / Second Life / twitter / を使用する場合があります。各自アカウント取得。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	修了制作	授業分野	修了制作
担当教員	イメージクリエイションコース 2年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	2年次に培った各自の力を総合的にはかる、自主研究テーマによる作品制作を行う。 3年次に必要とされる、自らが選択し、決定し、能動的に制作できる力を養成する。		
授業内容詳細・進行			
	1週 企画発表、作品制作、内容チェック(冬休み中にプランニング、 asabi.edu参照) 2週 " 3週 作品制作、内容チェック 4週 作品制作、内容チェック、講評		
初回持参物	企画書／プランニングエスキース／筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	①出席を重視 ②制作された作品の完成度 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション3	授業分野	社会とアート2
担当教員	横谷奈歩		
専門 実務経験等	専門:アーティスト ○アーティスト・イン・レジデンス参加(2013年から現在まで、AIR_Onomichiに招聘) ○星劇団再演プロジェクト/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○高橋家にまつわる物語/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○アートとサイエンスのあいだ/異分野の専門家との共同プロジェクト(2012年、2014年に展覧会と出版) ○芸術と考古学/考古学とアートの共同プロジェクト(2017年に展覧会、2019年に展覧会予定)		
授業内容 および 到達目標	幅広いアートの活動のあり方を知識だけでなく体験を通じて習得していく。自身のプランを計画、実行が出来るまでになることが望ましい。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 拓本ワークショップ 2週 さまざまなアートプロジェクトの紹介 3週 自分の年表をつくる+プレゼンテーション+ディスカッション 4週 リサーチテーマの決定とプレゼンテーション 5週 オブジェやテキストとの組み合わせ、インスタレーションへの展開と制作 6週 オブジェやテキストとの組み合わせ、インスタレーションへの展開と制作 7週 発表と講評会 8週 テーマに対する多様な手法の紹介 9週 現実空間と虚構の物語の交錯する空間、インスタレーションの考案 10週 制作とディスカッション 11週 制作とディスカッション 12週 発表と講評会		
〈後期〉	1週 表現の場について考える。さまざまな場における制作と発表の例 2週 アートの社会的介入について、国際展や芸術祭に見られる様々な事例を紹介。 3週 他者との関係性を重視したリレーショナル・アートやグループワークの企画。 4週 制作とディスカッション 5週 制作とディスカッション 6週 制作とディスカッション 7週 今という時代について考察し、自身の表現について言語化するレッスン。 —自分の年表を元に 8週 テーマ設定と、リサーチの方向性についてプレゼンテーション。 9週 制作とディスカッション 10週 制作とディスカッション 11週 制作とディスカッション 12週 発表と講評会		
初回持参物	筆記用具/ノート		
準備学習	さまざまな展覧会の見学をする。過去のアートプロジェクトにどういったものがあるのか、調べてみる。		
成績評価方法 および 注意事項	実験精神と自由な発想力、制作における集中力を重視。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション4	授業分野	企画制作ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	作品制作を形成する背景と身体性について学び、自分の表現をプレゼンテーションできる力を養成する。 前期では、フィールドワークなどの演習を通して調査、分析の眼を育てる。 特別講師による身体ワークショップあり。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 からだのじかん 2週 " 3週 " 4週 フィールドワーク 身近な地域とアート 画像の収集 →電子書籍サービスでの編集 5週 " 6週 " 7週 企画演習1 高円寺について考える 街並みのリサーチから 8週 " プランニングエスキース 資料収集 9週 " 10週 " 11週 " 12週 " まとめ 発表		
初回持参物	ノートPC、筆記用具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への取り組みを重視します。評価は、課題の理解度と提出物で判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション4	授業分野	展示企画ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	作品制作を形成する背景と身体性について学び、自分の表現をプレゼンテーションできる力を養成する。 前期に行った企画制作をもとに、使用したツールをして企画書の制作、卒業制作の企画を行う。 特別講師による身体ワークショップあり。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 からだのじかん 2週 " 3週 " 4週 企画書の制作と実践 企画のポイントとプロポーザル 5週 " 6週 " プレゼンテーション 7週 卒制企画 コンセプトシート、ねらいをはっきりするには？ 8週 " 企画チェック 9週 " 10週 " 11週 " 12週 " プレゼンテーション資料のデモンストレーション		
初回持参物	筆記用具／ノート		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への取り組みを重視します。評価は、課題の理解度と提出物で判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	イメージクリエイション演習2-1・2-2	授業分野	イメージクリエイション演習2
担当教員①	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手、 1995年4月～1998年3月同大学非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像 ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
担当教員②	野村和弘		
専門 実務経験等	専門:美術家 1990年デュッセルドルフ美術アカデミーにて学位(Meisterschueler)取得 パブリックコレクション 千葉市美術館 富士ゼロックス いわき市立美術館 3331アーツ千代田 他、美術館で多くの企画展に参加		
授業内容 および 到達目標	自分の表現が「作品になる」と「作品にならない」ことの相違を理解し、表現者として自立する力を養成する。 作品の内容と形状、素材の関係、展示という連関する構造を体験的に理解し、アートとは何かを考察しながら、作品制作に関 わる姿勢を身につける。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 現代美術演習 1: 現代アートの作家を参照し、制作手法を分析、応用する。 2週 // 3週 現代美術演習 2: 現代アートの作家を参照し、制作手法を分析、応用する。 4週 // 5週 // (2課題終了後に講評) 6週 テーマ制作(テーマガイダンス、プランニング) 7週 // (作品制作) 8週 // (作品制作) 9週 共通課題: 校外展示企画(プランニング) 10週 // (作品制作) 11週 // (作品制作) 12週 // (セッション衫並で展覧会・合評を行う。)		
〈後期〉	1週 テーマ制作(テーマガイダンス、プランニング) 2週 // (作品制作) 3週 自主企画展: IC科合同展示に向けて(展覧会企画ミーティング、コンセプト決定) 4週 // (作品制作、チェック) 5週 // (作品制作、チェック) 6週 // (展示講評) 7週 卒業制作①: 企画→制作→講評→再制作→展示 8週 // (作品制作) 9週 卒制中間チェック 10週 卒業制作②: 企画→制作→講評→再制作→展示 11週 // (作品制作) 12週 // (講評、再制作)		
初回持参物	ノート／筆記用具／後期初回授業に夏季休業課題、卒業制作テーマプラン		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、作品制作への集中度、作品の完成度。 各課題の詳細は、各課題初回ガイダンス時に伝達する。 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀 / 89～80点: 優 / 79～70点: 良 / 69～60点: 可 / 59点以下: 不可		

科目名	卒業制作	授業分野	卒業制作
担当教員	イメージクリエイションコース 3年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	後期より進めてきた各自の研究テーマを掘り下げ、より高度な制作のプロセスによる、質の高い完成度を持った作品を目指す。		
授業内容詳細・進行			
	1週 作品制作、個別制作指導 2週 " " 3週 作品制作、個別制作指導、展示計画 4週 " " (卒制審査)		
初回持参物	研究テーマプランニングシート		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	作品の新奇性、制作の過程、完成度 <hr/> 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

アート学科
絵画表現コース

Fine Arts

FA

2019年度 アート学科 絵画表現コース2年次

☆マーク:2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
絵画表現1						4
	○△☆絵を知る1	甲斐/齊藤	前	火3/4	331	
	○△☆絵を知る2	甲斐	後制	火3/4	311	
絵画表現2						4
	☆絵を生かす1	羽賀洋子	前後制	火1/2	331	
絵画表現演習1-1						6
	*すべて必修					
	○△☆古典技法画1	崔恩景	前	月1/2	331	
	☆総合制作A-1	手塚真梨子	前	月3/4	331	
	☆油彩画(人物・静物)1	金子修	前	木3/4	432	
	☆総合制作B-1	大城夏紀	前	水3/4	311	
	版画1銅版画F	佐藤賀奈子	前	土1/2	401	
	○△版画1シルクスクリーン	馬場恵	前	木1/2	401	
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/2日間	331	
絵画表現演習1-2						6
	*すべて必修					
	☆特別演習2(特講数回)	特別講師	後制	水3/4	331	
	☆総合制作A-2	手塚真梨子	後制	月3/4	331	
	☆油彩画(人物・静物)2	金子修	後	木3/4	432	
	☆版画2	馬場/佐藤	後制	水1/2	401	
	○☆総合制作B-2	甲斐/齊藤	後制	月1/2	331	
	○フェスタ展示	甲斐/助手	後	準備週/2日間		
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間		
修了制作						6
	○制作指導	FA教員		上記授業時間外	各教室	
	○修了制作審査/講評	担当教員全員	制	制作週後/2日間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2018年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

2019年度 アート学科 絵画表現コース 3年次

☆マーク:2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
絵画表現3						4
	○☆絵を知る3	甲斐/齊藤	前	火3/4	331	
	○☆絵を知る4	甲斐	後制	火3/4	311	
絵画表現4						4
	☆絵を生かす2	羽賀洋子	前後制	火1/2	331	
絵画表現演習2-1	*前期(2-1):総合制作は必修/その他、2授業分野以上を選択必修					6
(選択必修)	○古典技法画3	崔恩景	前	月1/2	331	
	総合制作A-3	手塚真梨子	前	月3/4	331	
(選択必修)	油彩画(人物・静物)3	金子修	前	木3/4	432	
	総合制作B-3	大城夏紀	前	水3/4	331	
(選択必修)	○版画3	馬場/佐藤	前	水1/2	401	
	○前期講評 担当教員全員		前	調整週/2日間		
絵画表現演習2-2	*後期(2-2):総合制作+特別演習は必修/版画のみ選択必修					6
(必修)	総合制作A-4	手塚真梨子	後制	月3/4	331	
	○総合制作B-4	甲斐/齊藤	後制	月1/2	331	
	特別演習4(特講数回)	特別講師	後制	水3/4	331	
(選択必修)	○版画4	馬場/佐藤	後制	水1/2	401	
	○後期講評 担当教員全員		後	調整週/2日間		
卒業制作						6
	○制作指導	FA教員	上記授業時間外		各教室	
	○卒業制作審査/講評	担当教員全員	制作週外/2日間			
	○卒業制作展 展示	甲斐/助手	制作週後/1週間			

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2017年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

科目名	絵画表現1・2・3・4	授業分野	絵を知る1・2
担当教員①	甲斐光省		
専門 実務経験等	専門:画家 「絵画研究会・朝の会」会員 / まんが計画展 1986年～1988年壁画工房所属 「デッサン新百科」執筆 2005年～2017年 アートマスターズスクール 絵画デッサン講師		
担当教員②	齊藤有紀		
専門 実務経験等	専門:絵画・イラスト 2010年より個展、グループ展多数開催。2014年～2015年テレビ朝日「世界が愛した絵本」番組連動企画スペシャルイベントなどでワークショップ。2009年～現在、小鹿野町おこしイベント「路地 ST」や「花祭りアート市」への出展、アート&コミュニケーション「あそびの学校」講師スタッフなど数多くの地域アート活動。		
授業内容 および 到達目標	到達目標:①美術史に残る様々な絵を知る ②自分の絵を知る ③自分の絵を生かす方法を知る 具体的な作業:①様々な絵の技法、絵に対する考え方を知り、その絵が何を表現しているかを知る ②歴史に残る絵を知る事で、自分の絵がどのような絵の文脈に属するものであるかを知る ③自主制作および個別指導により各自の表現を深める④ポートフォリオの制作		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉1週	教室と制作場所を整備／前期スケジュール確認／前期個人制作目標を考える(シート配布&記入)		
2週	絵を知る①／美術館見学／感想文作成		
3週	何を見たか①／美術館見学レポート発表		
4週	何を描くか①／前期制作目標記入シート・個人面談		
5週	個人制作指導		
6週	絵を知る②／美術館見学／感想文作成		
7週	何を見たか②／美術館見学レポート発表		
8週	中間チェック(絵画表現 1・2合同)		
9週	個人制作指導		
10週	個人制作指導		
11週	個人制作指導		
12週	前期合評前／プレゼンテーション内容指導		
〈後期〉1週	後期スケジュール確認／後期個人制作目標を考える(シート配布&記入)		
2週	ポートフォリオのための作品撮影		
3週	ポートフォリオ制作指導		
4週	個人制作指導／卒業制作指導①		
5週	個人制作指導／卒業制作指導②		
6週	学園祭展示指導(絵画表現 3・4合同)		
7週	絵を知る③／美術館企画展見学(絵画表現 3・4合同)		
8週	何を見たか③／美術展見学レポート発表		
9週	卒業制作中間プレゼン(絵画表現 3・4合同)		
10週	個人制作指導／卒業制作指導③		
11週	個人制作指導／卒業制作指導④		
12週	個人制作指導／卒業制作指導⑤／卒制審査前作品チェック		
〈制作期〉1週	制作期スケジュール確認／制作期個人制作目標を考える(シート配布&記入)		
2週	修了制作指導①／卒業制作指導⑥		
3週	修了制作指導②／卒業制作指導⑦		
4週	修了制作指導③／卒業制作指導⑧／合評・卒展前作品チェック		
初回持参物	筆記用具／描画用具／材料		
準備学習	普段から美術作品について興味を持っておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	歴史に残る絵、同時代の様々な絵を知る事が、自分の描いている絵、描くべき絵を知る事につながります。 見学後のレポートと発表内容も評価対象ですが、個人指導にて制作する作品の内容が主たる評価対象です。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	絵画表現2・4	授業分野	絵を生かす1・2
担当教員	羽賀洋子		
専門 実務経験等	専門:画家 1995年～現在 小学生から高校生までを対象とした「アトリエあのむ」を主宰、指導 2006年～2010年 三戸美奈子カリグラフィー教室「ドローイングクラス」担当 2010年～2013年 プラザノース自主事業開講講座ノース・パレット「パステル画講座」「アクリル画講座」担当 東京を中心とした画廊企画個展 13回とグループ展、音楽とのコラボレーション展を中心に作品を発表。 「絵の具とあそぶ」練馬区美術館 2006年ほか さまざまなワークショップイベントを担当		
授業内容 および 到達目標	到達目標:自分が制作した絵を生かす＝自分の作品が使われる場を制作を通して模索しながら、自己の表現を高める。 具体的な作業:自主制作により、自分の絵の特性を生かす場や文脈に即した表現を磨く。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 講師の作品と活動を知る／絵を生かす① 2週 各自制作テーマを考える／絵を生かす② 3週 個人制作指導 4週 個人制作指導 5週 個人制作指導 6週 絵を生かす③ 7週 個人制作指導 8週 中間チェック(絵画表現 1・2合同) 9週 個人制作指導 10週 個人制作指導 11週 個人制作指導 12週 前期合評会前／プレゼンテーション内容指導		
〈後期〉	1週 各自の制作テーマを考える／絵を生かす④ 2週 個人制作指導／卒業制作指導① 3週 個人制作指導／卒業制作指導② 4週 個人制作指導／卒業制作指導③ 5週 個人制作指導／卒業制作指導④ 6週 学園祭展示指導(絵画表現 3・4合同) 7週 絵を生かす④／美術館企画展見学(絵画表現 3・4合同) 8週 個人制作指導／卒業制作指導⑤ 9週 個人制作指導／卒業制作指導⑥ 10週 個人制作指導／卒業制作指導⑦ 11週 個人制作指導／卒業制作指導⑧ 12週 自己点検／自己評価 自分の絵の生かし方を見つけたか？		
〈制作期〉	1週 修了制作指導①／卒業制作指導⑨ 2週 修了制作指導②／卒業制作指導⑩ 3週 修了制作指導③／卒業制作指導⑪ 4週 修了制作指導④／卒業制作指導⑫		
初回持参物	筆記用具／描画用具／材料		
準備学習	現在興味のある作家や美術展、今後の抱負などについて話せるように内容をまとめておく。		
成績評価方法 および 注意事項	出席と制作内容、意欲が評価ポイント 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	○△絵画表現演習1-1・2-1	授業分野	古典技法画1・3
担当教員	崔恩景		
専門 実務経験等	専門:美術家 株式会社クサカベ社に1990年9月から現在まで勤務 1990年から1997年までは、「テンペラ画の描き方のテキスト」作成および「テンペラ画セット」作成 油絵具のパッケージ画、油絵具の色見本制作。1997年から2000年まではパリにて絵画制作。 2000年から現在までは、営業部所属員として絵画講師。		
授業内容 および 到達目標	絵を描くことの喜びのひとつは、描いていく過程を楽しむことにあります。 この授業では、絵画を支えている支持体と地塗りと絵の具の特徴を学びます。 特に中世絵画のなかでのテンペラ画の模写を通して、制作過程を体験し、自分の制作に生かすことを試みます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 絵画技法の基礎について(テンペラ画技法について)[講義/実習]白亜地作り(木版に布を貼る/ F3) 2週 白亜地作り(講義/実習/地塗りをする) 3週 白亜地作り(白亜地磨き)、模写する画の転写[講義/実習] 4週 テンペラ絵具作りと制作(ハッチングに関する説明)[講義/実習]テンペラメディウム作り 5週 テンペラ絵具による制作 6週 // 7週 // 8週 // 9週 // 10週 // 11週 // 12週 テンペラ絵具による制作/講評		
初回持参物	筆記用具/切れ味の良いハサミ		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と実習作品の完成度による評価 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習1-1・1-2・2-1・2-2	授業分野	総合制作A-1・2・3・4
担当教員	手塚真梨子		
専門 実務経験等	専門:画家 2018年 個展 「さわるものとさわられるもの」 銀座 Gallery Bar Kajima / 「え という名前の喫茶店」 銀座 あかね画廊 2017年 個展 「ウィリアムス浩子 LoveCallsForちあきなおみ」 お茶の水 アートギャラリー884 「ウィリアムス浩子 LoveCallsForちあきなおみ」 新宿 ル トリアングル など		
授業内容 および 到達目標	絵がどのようなものでありうるか、絵を社会の中でどのように生かしていくか、講師の実例から学ぶ。 画材の選択、可能性を探ること。画材、基底材(キャンバス、紙、壁面など)と自分の適性。 発表の仕方(場所、展示方法)、作品の見せ方(ポートフォリオ、ホームページ)。 制作は自主制作中心で個別指導。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 制作場所を整備／講師の作品と活動を知る 2週 自己紹介(ものを使って) 3週 制作／個人指導／素材について知る① 4週 制作／個人指導／素材について知る② 5週 制作／個人指導／色の見え方・感じ方① 6週 制作／個人指導／色の見え方・感じ方② 7週 制作／個人指導／大きさの選択。大きな画面と小さな画面の印象について。 8週 制作／個人指導／状況の選択。どこで描くか。その場の気配、音や匂い。 9週 制作／個人指導／現状を知る。自分の制作を客観的にみている。 10週 制作／個人指導／発表方法(場所、展示方法)① 11週 制作／個人指導／発表方法(場所、展示方法)② 12週 合評会(予定)		
〈後期〉	1週 後期の展望・目標設定／ポートフォリオ①／卒業制作指導① 2週 制作／個人指導／ポートフォリオ②／卒業制作指導② 3週 制作／個人指導／ホームページ①／卒業制作指導③ 4週 制作／個人指導／ホームページ②／学園祭展示準備①／卒業制作指導④ 5週 制作／個人指導／学園祭展示準備②／卒業制作指導⑤ 6週 制作／個人指導／学園祭展示準備③／卒業制作指導⑥ 7週 制作／個人指導／卒業制作指導⑦ 8週 制作／個人指導／卒業制作指導⑧ 9週 制作／個人指導／卒業制作指導⑨ 10週 制作／個人指導／卒業制作指導⑩ 11週 制作／個人指導／卒業制作指導⑪ 12週 制作／個人指導／卒業制作指導⑫		
〈制作期〉	1週 修了制作指導①／卒業制作指導⑬ 2週 修了制作指導②／卒業制作指導⑭ 3週 修了制作指導③／卒業制作指導⑮ 4週 修了制作指導④／卒業制作指導⑯		
初回持参物	筆記用具／描画材料		
準備学習	自分の適性を探るため、とっかかりとして画材を三つ試してみてください。①鉛筆②水彩絵の具③油絵の具 鉛筆の濃さ(H,HB,Bなど)は自由です。水彩、油彩の絵の具は好きな色一色で構いません。 紙に線を引いてみたり、絵の具をパレットに出して触ってみるだけでも大丈夫です。		
成績評価方法 および 注意事項	出席と制作内容、意欲が評価ポイント 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習1-1・1-2・2-1・2-2	授業分野	総合制作B-1・2・3・4
担当教員①	大城夏紀		
専門 実務経験等	専門:画家 2012年大学院修了後も、画家として活動を続ける。 2012年～2013年 株式会社ノートンリミテッド(ギャラリーにて展覧会に関する業務全般) 2013年～現在「絵画教室 tabunoki」主宰		
担当教員②	齊藤有紀		
専門 実務経験等	専門:絵画・イラスト 2010年より個展、グループ展多数開催。2014年～2015年テレビ朝日「世界が愛した絵本」番組連動企画スペシャルイベントなどでワークショップ。2009年～現在、小鹿野町おこしイベント「路地 ST」や「花祭りアート市」への出展、アート&コミュニケーション「あそびの学校」講師スタッフなど数多くの地域アート活動。		
授業内容 および 到達目標	絵がどのようなものでありうるか、絵を社会の中でどのように生かして行くか、講師の実例と経験から学ぶ。 絵具の具体的な使い方(この授業では特に油彩の溶き油と画面効果)、発表の仕方(場所、展示方法)、 作品の見せ方(ポートフォリオ、ホームページ)まで。制作は自主制作中心で個別指導。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉1週	制作場所を整備		
2週	講師の作品と活動を知る／油絵具の使い方①		
3週	制作／個人指導／油絵具の使い方②		
4週	制作／個人指導／キャンバスの使い方①		
5週	制作／個人指導／キャンバスの使い方②		
6週	制作／個人指導／溶き油の使い方①		
7週	制作／個人指導／溶き油の使い方②		
8週	制作／個人指導／絵画表面の効果①		
9週	制作／個人指導／絵画表面の効果②		
10週	制作／個人指導／どこで発表するか①		
11週	制作／個人指導／どのように展示するか②		
12週	合評会(予定)		
〈後期〉1週	後期の展望・目標設定／ポートフォリオ①(夏課題提出)		
2週	就職ガイダンス①(就活基本)／ポートフォリオ②(添削)		
3週	制作／個人指導／展示計画(2年生:FESTA/3年生:卒展)		
4週	制作／個人指導／ポートフォリオ③(ブラッシュアップ)		
5週	制作／個人指導／Photoshop&Illustrator復習①(名刺作成)		
6週	制作／個人指導／学園祭展示準備確認		
7週	制作／個人指導／下半期 to do リスト作成		
8週	制作／個人指導／中間チェック		
9週	制作／個人指導／就職ガイダンス②(履歴書と面接のポイント)		
10週	制作／個人指導／スタジオライセンス講習		
11週	制作／個人指導／Photoshop&Illustrator復習②(DM作成)		
12週	制作／個人指導／審査前チェック／冬期学習期間計画		
〈制作期〉1週	修了制作指導／卒業制作指導		
2週	修了制作指導／卒業制作指導		
3週	修了制作指導／卒業制作指導		
4週	修了制作指導／卒業制作指導		
初回持参物	筆記用具／描画材料		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席と制作内容、意欲が評価ポイント 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習1-1・1-2・2-1	授業分野	油彩画(人物・静物)1・2・3
担当教員	金子修		
専門 実務経験等	専門:油彩画 1984年～現在 洋画家 「絵画研究会・朝の会」会員		
授業内容 および 到達目標	油彩画には長い歴史がありますが、この講座ではその表現の可能性を理解するために、伝統的な考え方や方法に基づいて静物画や人物画を制作します。また画材や構図構成について学び、絵の具を混ぜて色を作ることで明度・彩度・色の調和に対する感覚を養います。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	<p>1週～3週 【油彩画の画材と技法に慣れる／明度の感覚を養う】 白とこげ茶の2色のみを使って、6号のキャンバスに静物の単色画を3週で1枚制作。初回、油彩画の歴史概要・画材の説明・キャンバス張りの実習後、制作開始。</p> <p>4週～7週 【混色に慣れる／彩度の感覚を養い、色と色の関係を理解する／塗り重ねの効果を理解する】 白・こげ茶・明るい茶・黄土色・青の5色を使って、10号のキャンバスに4週で静物画を1枚制作。 混色で比較的低彩度のさまざまな色を作り、現実にある色と色の関係を画面上の色の関係に等価に置き換えていく。また低彩度・低明度差から高彩度・高明度差へと徐々に絵の具層を重ねていき、下に塗った絵の具の層を活かす油彩画の視覚的効果を理解する。</p> <p>8週～12週 【望みの明度・彩度・色相の色を自由に作れるようになる／影の色をコントロールできるようになる ／透明・不透明な絵の具の使い方を理解する】 白・こげ茶・赤・黄土色・黄・緑・青の7色を使って、15号のキャンバスに5週でヌード人物画を1枚制作。 これまでに学んだ知識・技法をすべて使い、油彩画本来の制作過程を踏んで作画する。</p> <p>参考作品：14世紀～20世紀前半の西洋油彩画作品</p>		
〈後期〉	<p>1～4週 【望みの明度・彩度・色相の色を自由に作れるようになる】 白・こげ茶・赤・黄・青の5色を使って、さまざまな明度・彩度・色相のものを組み合わせた静物を10号のキャンバスに4週間で描く。 初回、油彩画の歴史概要・画材の説明・キャンバス張りの実習後、制作開始。</p> <p>5～8週 【空気遠近法と構図法を理解する】 白・こげ茶・赤・黄・青の5色を使って、蚕糸の森公園内の風景を12号のキャンバスに4週間で描く。</p> <p>9～12週 【望みの明度・彩度・色相の色を自由に作れるようになる／影の色をコントロールできるようになる ／透明・不透明な絵の具の使い方を理解する／画面構成を意識する】 白・こげ茶・赤・黄土色・黄・緑・青の7色を使って、12号のキャンバスに4週で着衣人物画を1枚制作。 これまでに学んだ知識・技法をすべて使い、油彩画本来の制作過程を踏んで作画する。</p>		
初回持参物	筆記用具／木炭／油彩画道具一式＊詳細は下記を参照 絵の具(とりあえずは白・こげ茶のみで可)／パレット／油壺／パレットナイフ／絵筆／溶剤／筆洗／ぼろ切れ／石けん		
準備学習	できるだけ美術館やギャラリーに行き、生の作品に触れておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と作品で評価。講義と実習は同時に行なう。特に油彩画の経験のある人は自分が今まで行ってきた描き方とは異なる場合がありますが、油絵本来の基本的技法と考え方を理解してもらうため、本講座では講師の指示する方法に従って下さい。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	○△絵画表現演習1-1	授業分野	版画1
担当教員①	馬場恵		
専門 実務経験等	専門:美術家 2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2017年 三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
担当教員②	佐藤賀奈子		
専門 実務経験等	専門:美術家 2014年～現在 日本版画協会所属 2017年 個展(ギャラリー檜/東北芸術工科大学アートワーク) 2016年 デンカ株式会社カレンダー 作品提供/山形法人会会報 8月号 表紙作品提供/個展(自由が丘もみの木画廊 /企画展)など。		
授業内容 および 到達目標	学術造形科目と共通 (シルクスクリーンワークショップ F/銅版画F)		
授業内容詳細・進行			
	<p>【シルクスクリーン版画】</p> 1週 課題説明とプランニング 課題1:オリジナルポートフォリオのファイル制作・制作出来るファイルのバリエーション説明 2週 個々のポートフォリオのファイルデザイン決定 3週 ファイルプリント 4週 ファイルプリント・成形・完成 5～11週 課題2:2つの以下の課題から自分の挑戦してみたい内容を選択して制作 ①平面媒体の持つ可能性を追求 色の発色、重なり表現効果を生かした多色刷りの作品制作や、版画集や絵本制作など (使用素材:主に紙/制作する媒体:絵本、版画集、ポスター等) ②様々な素材へのプリントの挑戦 オリジナルグッズ制作などでの世界観の表現を追求する (使用素材:布/紙/アクリル板/フィルム類/木製板等) 12週 講評会 <p>【銅版画】</p> 1週 授業説明/技法説明/デモンストレーション 2週 基本的技法の体験 3週 課題①テーマ制作 4週 // 5週 // 課題①作品完成 6週 美術館見学(展覧会の状況により日程が変更になる場合があります) 7週 応用技法の体験/多色刷り、重ね刷りデモンストレーション 8週 課題②自由制作 9週 // 10週 // 11週 // 12週 // 課題②作品完成、講評		
初回持参物	エプロン/筆記用具/ポートフォリオ/本講座で制作したい作品の大まかなプラン		
準備学習	学術造形科目と共通 (シルクスクリーンワークショップ F/銅版画F)		
成績評価方法 および 注意事項	版表現への積極的なアプローチや自主性、計画した制作を最後まで仕上げる努力を評価。 各自、授業時間外にも版画工房を利用して作品を仕上げる事。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習1-2	授業分野	版画2
担当教員①	馬場恵		
専門 実務経験等	専門:美術家 2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2017年 三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
担当教員②	佐藤賀奈子		
専門 実務経験等	専門:美術家 2014年～現在 日本版画協会所属 2017年 個展(ギャラリー-檜/東北芸術工科大学アートワーク) 2016年 デンカ株式会社カレンダー 作品提供/山形法人会会報 8月号 表紙作品提供/個展(自由が丘もみの木画廊 /企画展)など。		
授業内容 および 到達目標	前期に学造科目で習得したシルクスクリーン及び銅版画の技法を、個々の制作へ応用させる。 テクスチャーや技法を組み合わせアイデアを養うワークショップと、自身の表現を探求するテーマ制作を行う。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 課題説明/講師作品紹介/技法の展開のアイデアを考える 2週 ワークショップ1:偶然性を取り入れた作品制作 3週 製版、試し刷り 4週 製版、試し刷り/作品完成 5週 ワークショップ2:技法を組み合わせた作品制作 6週 製版、試し刷り 7週 製版、試し刷り/作品完成 8週 各自テーマを設定し制作(下絵準備) 9週 製版/試し刷り 10週 〃 11週 〃 12週 〃		
〈制作期〉	1週 本刷り 2週 〃 3週 〃 4週 作品の完成/講評		
初回持参物	エプロン/筆記用具/エスキースブック		
準備学習	前期に制作した版画作品を見返して、この授業でどのような制作をしたいか考えてくること。		
成績評価方法 および 注意事項	興味のあるテクスチャーや表現への積極的なアプローチ、計画した制作を最後まで仕上げる努力を評価。 課題を授業内で終了できない場合、各自版画工房を利用し作品を仕上げる。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習2-1	授業分野	版画3
担当教員①	馬場恵		
専門 実務経験等	専門:美術家 2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2017年 三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
担当教員②	佐藤賀奈子		
専門 実務経験等	専門:美術家 2014年～現在 日本版画協会所属 2017年 個展(ギャラリー檜/東北芸術工科大学アートウォーク) 2016年 デンカ株式会社カレンダー 作品提供/山形法人会会報 8月号 表紙作品提供/個展(自由が丘もみの木画廊 /企画展)など。		
授業内容 および 到達目標	2年次に絵画表現演習 1 版画1-2で習得した、シルクスクリーン及び銅版の版画技法を卒業制作へむけて応用展開させていく。版画とその他の手法を用いた併用技法を習得し、版を使用した表現の確立を目指す。		
授業内容詳細・進行			
	1週 授業説明/講師作品紹介/各自のアイデアを考える。 2週 ワークショップ:併用技法 3週 製版、試し刷り 4週 〃 5週 〃 6週 作品完成 7週 各自テーマを設定し制作/テーマに対する個々のアプローチを検証(下絵準備) 8週 製版、試し刷り 9週 〃 10週 〃 11週 〃 12週 作品完成/講評		
初回持参物	エプロン/筆記用具/エスキースブック		
準備学習	2年次に制作した版画作品を見返して、この授業でどのような制作をしたいか考えてくること。		
成績評価方法 および 注意事項	版表現への積極的なアプローチや自主性、計画した制作を最後まで仕上げる努力を評価。 卒業制作は、各自、授業時間外にも版画工房を利用して作品を仕上げる事。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	絵画表現演習2-2	授業分野	版画4
担当教員①	馬場恵		
専門 実務経験等	専門:美術家 2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2017年 三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
担当教員②	佐藤賀奈子		
専門 実務経験等	専門:美術家 2014年～現在 日本版画協会所属 2017年 個展(ギャラリー-檜/東北芸術工科大学アートウォーク) 2016年 デンカ株式会社カレンダー 作品提供/山形法人会会報 8月号 表紙作品提供/個展(自由が丘もみの木画廊 /企画展)など。		
授業内容 および 到達目標	2年次、3年次前期で学んだシルクスクリーン及び銅版画の版画技法を用い、卒業制作として完成されたものにする。版画という技法を習得応用し、自身の表現を確立させる。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 卒業制作へ向けてのプランニング 2週 各自テーマを設定し、卒業制作(下絵準備) 3週 製版/刷り 4週 〃 5週 〃 6週 〃 7週 〃 8週 〃 9週 〃 10週 〃 11週 〃 12週 中間講評		
〈制作期〉	1週 本刷り 2週 〃 3週 〃 4週 作品の完成/講評		
初回持参物	エプロン/筆記用具/エスキースブック		
準備学習	これまでに制作した版画作品を見返して、どのような制作をしたいか考えてくること。同時に、制作スケジュールについても考えてくること。		
成績評価方法 および 注意事項	版表現への積極的なアプローチや自主性、計画した制作を最後まで仕上げる努力を評価。 卒業制作は、各自、授業時間外にも版画工房を利用して作品を仕上げる事。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

科目名	修了制作	授業分野	修了制作
担当教員	絵画表現コース2年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	これまで学んだテーマの探し方、描く技術、絵の使い方などの達成度を示す。 3年生の次のステップに跳躍する踏み台となるような制作をこころがける。		
授業内容詳細・進行			
	<ul style="list-style-type: none"> ○修了制作で決めるべきことから <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ(たとえば「冬の気配」) ②描くモチーフ(たとえば「近所の雑木林の風景」) ③メディア(リアル画、空想画、版画、絵本、図鑑、イラストなど) ○制作スタイルは次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> ①後期の制作を持続展開 ②あらたなテーマ、モチーフ、メディアで制作 ○指導体制 <ul style="list-style-type: none"> ①全体のコントロール＝ 絵画表現1[絵を知る]と絵画表現2[絵を生かす] ②制作指導＝絵画表現演習 1の全授業 ○制作期間:制作期 4週間 ○プレゼンテーションと審査:絵画表現コース 2年アトリエでプレゼンテーションおよび審査を行う。 		
初回持参物	筆記用具／描画材料など		
準備学習	図書室で自分の制作の参考になりそうな本を見つけておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	技術力／表現力／文脈力(自分の絵が社会のどの場面で生かせるのかをわかる力) およびプレゼンテーションで評価する。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

科目名	卒業制作	授業分野	卒業制作
担当教員	絵画表現コース3年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	これまで学んだテーマの探し方、描く技術、絵の使い方などの達成度を示す。 卒業後の次のステップに跳躍する踏み台となるような制作をこころがける。		
授業内容詳細・進行			
	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作で決めるべきことから <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ(精神的内容=たとえば「生きる喜び」) ②描くモチーフ(具体的対象=たとえば「東京の日常生活」) ③メディア(リアル画/ファンタジー画/抽象画/版画/デジタル描画/ピクチャブックなど) ○制作スタイルは次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> ①前期の制作を持続展開 ②あらたなテーマ、モチーフ、メディアで制作 ○指導体制 <ul style="list-style-type: none"> ①全体のコントロール= 絵画表現3[絵を知る]と絵画表現 4[絵を生かす] ②制作指導=絵画表現演習2の全授業 ○制作期間:後期 12週間+ 制作期4週間 ○展示:絵画表現コース 3年アトリエで展示。学生自身で展示作業を行う 		
初回持参物	筆記用具/描画材料など		
準備学習	2年生までに制作した作品をまとめておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	技術力/表現力/文脈力(自分の絵が社会のどの場面で生かせるのかをわかる力)		
	成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		